

請負者への指導・依頼事項について

①見積徴収にあたって

- ・水路工事 水路延長を明記した見積を徴収します。
- ・舗装工事 舗装面積を明記した見積を徴収します。

②出来形数量について

- ・出来形図面で水路延長、舗装面積等が分かる図面を作成させます。
- ・変更があった場合は、水路延長、舗装面積等の数値により請負金額を変更します。

③写真管理について

- ・請負者に施工前、施工中（作業毎）、施工後の写真を撮るように指導して下さい。
- ・構造物の寸法や延長、幅などの出来形が確認できる写真を撮るように指導して下さい。また、基礎砕石などの完成後に見えなくなる箇所は、寸法が分かる写真も撮るように指導して下さい。（P3, P4写真管理基準参照）

④品質管理について

- ・見積書に記載された規格・品質の資材が使用されているか確認するため、施工前に資材のカatalogや試験成績表、材料納品書の提出を受けて下さい。

⑤施工管理について

- ・施工図面にに基づき工事を実施する場合には、適正に施工が行われるよう、P2の「出来形管理基準の目安」を参考に施工業者に施工管理を行うよう指導して下さい。
- ・但し、施設の管理者が市町村や土地改良区の場合は、施工管理の基準は、施設管理者の指示に従って下さい。

⑥出来形の確認について

- ・見積書などに記載された契約数量が実際現場で施工されているか確認するため、請負者に図面に管理値を赤字で設計値と対比させて確認をします。

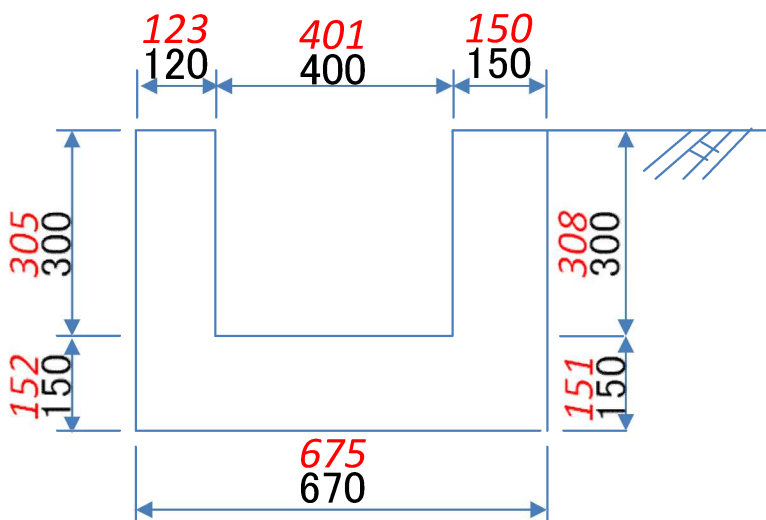
また、舗装工事の場合には、契約書の舗装面積を確認するため舗装展開図の提出を受けてください。

水路断面図

No.0+10.0

赤字は管理値(業者が測定)

黒字は設計値



水路平面図

